

可児市地域公共交通網形成計画（案）

パブリックコメント後修正箇所

平成 → 令和 西暦併記を消す

P.42 P.55 地域公共交通体系イメージ

Kバス新ルート設定に当たり、都市内基幹路線（赤）をかわまちエリア、可児川駅、鳩吹山方面へ延ばす

P.54 公共交通ネットワーク形成の方針

「名鉄広見線（可児駅～御嵩駅間）は、主に高校生の通学を支えているほか、地域の生活を支える重要な社会インフラであるため、可児市、御嵩町及び八百津町の沿線地域等関係者がと連携して各種利用促進政策を展開することで、~~地域に必要者社会インフラとして~~存続を図る。」

P.65 事業の実施スケジュールと実施主体

(1) 基本方針 I

③広域支援路線の運行

~~あい愛バス（古井駅～可児川駅線）の運行協力~~

東鉄バス（~~帷子線以外~~八百津線）の現行サービスの維持

実施主体 交通事業者・可児市・八百津町

東鉄バス（~~帷子線以外~~緑ヶ丘線・桜ヶ丘ハイツ線）の現行サービスの維持

実施主体 交通事業者・可児市・多治見市

①公共交通軸の運行

JR 太多線、~~名鉄広見線~~、高速バスの現行サービスの維持

~~名鉄広見線の現行サービスの維持~~

実施主体 交通事業者・可児市・御嵩町・八百津町

(2) 基本方針 II

②割引運賃や利用しやすい支払方法の導入

東鉄バス緑ヶ丘線とさつきバス桜ヶ丘線の運賃格差の是正

実施主体 可児市・交通事業者・多治見市

P.68 個別事業および路線単位の評価・検証

計算方法を記載